

令和2年度 年間指導計画を見直す際の参考資料

小学校 第5学年 「算数（学校図書）」

123時間（70%）

週	指導事項	単元名	小単元名	時間数	留意点
1 ・ 2	A (2) ア (7) イ (7)	1. 小数と整数 3時間	①小数と整数	2	・ (P.13、14)を関連付けて扱う。
			できるようになったこと、単元のまとめ等	1	・ 基礎基本の確認、活用問題への挑戦など、単元全体の振り返りを行う。
	B (1) ア (7) イ (7)	2. 合同な図形 5時間	①合同な図形	2	・ 合同な図形を切り取る等の作業は授業外に行い、動かして確かめる等体験的な活動を充実す
			②合同な図形のかき方	3	・ 長さや角の大きさに注目して合同な図形のかき方を考え、交流する活動を扱う。
			できるようになったこと、単元のまとめ等		・ 本単元の学習と並行して扱う。
			③比例	1	
	C (1) ア (7) イ (7)	3. 比例 4時間	①ともなうて変わる量	1	
			②比例	1	
			③比例を使った問題	1	
			できるようになったこと、単元のまとめ等	1	・ 基礎基本の確認、活用問題への挑戦など、単元全体の振り返りを行う。
3 ・ 4	D (2) ア (7) イ (7)	4. 平均 5時間	①平均	5	・ 電卓を利用するなど、計算して活動時間の圧縮を図る。
			できるようになったこと、単元のまとめ等		・ 本単元学習と並行して扱う。
	C (2) ア (7) イ (7)	5. 単位量あたりの大きさ (1) 5時間	①単位量あたりの大きさ	4	・ 2量の割合に注目させて比較させることにより、単位量あたりの大きさの意味を導く。
			できるようになったこと、単元のまとめ等	1	・ できるようになったことは可能な限り前時までに扱い、単元のまとめの活動を充実する。
5	A (3) ア (7) (4) イ (7)	6. 小数のかけ算 8時間	①整数×小数の計算	2	・ 次の章へのつながりをもてるよう、二重数直線等の掲示物を利用する。
			②小数×小数の計算	4	・ 数直線を利用して、積と被乗数の大小関係を扱う。
			③計算のきまり	1	
			できるようになったこと、単元のまとめ等	1	・ 基礎基本の確認、活用問題への挑戦など、単元全体の振り返りを行う。
6 ・ 7 ・ 8	A (3) ア (7) (4) イ (7)	7. 小数のわり算 10時間	①整数÷小数の計算	2	・ 「6. 小数のかけ算の①」の学習を利用できることに気付かせ、児童が解き方を見いだす支援とする。
			②小数÷小数の計算	7	
			③図にかいて考えよう	1	・ 図や式、数直線を用いて考える活動を入れる。
			できるようになったこと、単元のまとめ等		・ 本単元の学習と並行して扱う。
	C (2) ア (7) イ (7)	8. 単位量あたりの大きさ (2) 7時間	①速さ	5	・ 「5. 単位量あたりの大きさ (1)」と関連させて扱う。
			②仕事の速さ	1	
			できるようになったこと、単元のまとめ等	1	・ 基礎基本の確認、活用問題への挑戦など、単元全体の振り返りを行う。
9	B (1) ア (4) イ (7)	9. 図形の角 6時間	①三角形の角の大きさの和	2	
			②四角形の角の大きさの和	2	・ 「①三角形の角の大きさの和」の復習を兼ねながら、多角形の内角の和を導く。
			③多角形の角の大きさの和	2	・ 「①三角形、②四角形の角の大きさの和」の復習を兼ねながら、多角形の内角の和を導く。
			できるようになったこと、単元のまとめ等		・ 本単元の学習と並行して扱う。
10 ・ 11 ・ 12 ・ 13	A (1) ア (7) (4) イ (7)	10. 倍数と約数 9時間	①偶数と奇数	1	・ 「できるようになったこと」は可能な限り①～③の学習と並行して扱い、単元の学習の様子は次単元まで継続して確認する。
			②倍数と公倍数	5	
			③約数と公約数	3	
			できるようになったこと、単元のまとめ等		
	A (4) ア (7) (4) イ (7) A (5) ア (7) イ (7)	11. 分数のたし算とひき算 10時間	①大きさの等しい分数	4	・ 最小公倍数の復習を兼ねながら、通分を扱う。
			②分数のたし算	2	・ 前章の公倍数や公約数の復習も扱いながら進める。
			③分数のひき算	3	・ 分数のたし算の学習と関連付けることで活動時間の工夫を図る。
			できるようになったこと、単元のまとめ等	1	・ 基礎基本の確認、活用問題への挑戦など、単元全体の振り返りを行う。

	A (4) ア (7) (4) イ (4)	12. 分数と小数・整数	①わり算の商と分数	2	
			②分数と小数・整数	3	
			できるようになったこと、単元のまとめ等		・本単元の学習と並行して扱う。
14・15	C (3) ア (7) (4) イ (7)	13. 割合 (1)	①割合	2	・17. 割合(2)との接続を意識して、数直線や4マス関係表等の記録を残す。
			②百分率と歩合	2	
			できるようになったこと、単元のまとめ等		・本単元の学習と並行して扱う。
16	B (3) ア (7) イ (7) A (6) ア (7) イ (7) C (1) ア (7) イ (7)	14. 図形の面積	①平行四辺形の面積	3	・授業時間の圧縮と②への接続のため、図形の黒板掲示物を準備する。
			②三角形の面積	3	・平行四辺形の面積の求め方と関連付けて三角形の面積を扱う。
			③台形の面積	1	・平行四辺形、三角形の面積の求め方を活用して台形の面積を求める。
			④ひし形の面積	1	・平行四辺形、三角形の面積の求め方の復習を兼ねる。
			⑤面積の求め方のくふう	1	
			できるようになったこと、単元のまとめ等	1	・基礎基本の確認、活用問題への挑戦など、単元全体の振り返りを行う。
			10時間		
17	B (1) ア (4) (9) イ (7)	15. 正多角形と円	①正多角形	4	・(P. 68)の活動は授業の前に家庭などで行い、(P. 69)と(P. 70)を合わせて扱う。 ・(P. 144)「プログラミングのミ」と関連させて扱う。
			②円の直径と円周	3	・(P. 75)の表は、家庭学習等で作成する。
			できるようになったこと、単元のまとめ等		・本単元の学習と並行して扱う。
18	B (4) ア (7) (4) イ (7)	16. 体積	①体積	1	
			②体積の公式	2	
			③大きな体積	1	・1m=100cmを利用して、1m ³ =1000000cm ³ を求める。
			④いろいろな形の体積	1	・複合図形の体積は、複合図形の面積の求め方を想起させ、求め方を考えてから授業に臨む。
			⑤体積の単位	1	・長さや面積、体積の単位間の関係を扱う。 ※【参考】オンラインサポート授業
			⑥容積	1	
			できるようになったこと、単元のまとめ等	1	・基礎基本の確認、活用問題への挑戦など、単元全体の振り返りを行う。
19	C (3) ア (7) (4) イ (7)	17. 割合 (2)	①2つの量の割合	1	・単位置あたりの大きさや割合(1)と関連させて扱う。
			②割合を使った問題	4	
			できるようになったこと、単元のまとめ等		・本単元の学習と並行して扱う。
20	D (1) ア (7) (4) イ (7)	18. いろいろなグラフ	①円グラフ	2	
			②帯グラフ	1	・割合の復習を兼ねながら、帯グラフを書く。
			③円グラフと帯グラフのかき方	1	
			できるようになったこと、単元のまとめ等		・本単元の学習と並行して扱う。
21	B (2) ア (7) イ (7)	19. 立体	①角柱と円柱	3	・角柱と円柱に仲間分けする活動を取り入れながら、角柱と円柱の特徴や性質をまとめる。
			②見取図とてん開図	2	・角柱、円柱の展開図を切り取る活動は家庭学習を利用し、授業では対応する頂点や辺について学習する活動を扱う。
			できるようになったこと、単元のまとめ等	1	・基礎基本の確認、活用問題への挑戦など、単元全体の振り返りを行う。
	D (1) ア (4) イ (7)	20. データの活用	①データの活用	2	

※時間数の精選方法 (例)

- 授業中は学習の動機付けや考えを全体で交流して学びを深める活動に重点をおく。
 - ・問題練習や模型の作成等、授業中十分時間をとることのできない内容や活動などは家庭学習を利用します。
- 指導内容に基づき、授業中に扱う考えや活動を精選する。
 - ・ねらいの達成につながる意見や解法、活動を中心に扱い、授業時間を工夫します。
- 見方・考え方や学習のまとめ、つながりを大切にしたい単元計画を構想する。
 - ・数学的な見方・考え方を働かせながら学習できるように、「見方・考え方」のコメントなどを大切にしながら授業を計画します。
 - ・単元末には学習した内容を使って問題を解決し、単元全体の学習を振り返ります。
- 似た考え方や活動に気付かせ、活動の見通しをもてるようにする。
 - ・例えば、平行四辺形の面積の公式を求める一連の活動が、三角形の面積を求めるまでの考え方に生かせることに気付かせ、児童主体で学習を進められるようにします。児童の学習の足跡が分かる掲示物や写真等を活用することは有効な手立てです。